

「ダマスコに行きなさい」 —先週の講壇より—

「起き上がって、ダマスコに行きなさい。あなたが行うように定められているすべてのことが、そこであなたに告げられる」使徒22:10【新改訳2017】

使徒パウロはユダヤ人ですが、ローマの市民権を持っていました。パウロは生まれながらのローマ市民、つまり親がローマの市民権を取得していたということになります。世界のすべてを支配したように思えるほどの当時のローマの力、そのローマ市民だということは特別な権利を手に入れていたということです。そのローマの市民権を得るために、ある人たちは多額の金を支払って手に入れました。またある人たちは、ローマ兵として20年あるいは25年の兵役について、それを得ました。20~25年の兵役に就くということは、当時の男性の寿命から考えると、つまりはその人の人生すべてをかけるということです。ということは、兵役に就いてローマ市民を得るということは、本人のためではなく、家族のため、子供のため、子孫のため、ということです。パウロの親がどのようにしてローマ市民になったのか詳細は不明ですが、いずれにしても大変な思いを持って家族にローマの市民権を遺したということでしょう。

使徒の働き後半に書かれている世界宣教は、こうしたパウロだからこそ出来た主のお働きでした。それぞれに与えられた、それぞれの聖なる使命があるということを思わされます。

オレンジ郡教会 牧師 榊原のぶ



《 主 の 祈 り 》

天にまします我らの父よ。願わくは御名を崇めさせ給え。御国を来たらせ給え。みこころの天になるごとく、地にもなさせ給え。我らの日用の糧を今日も与え給え。我らに罪を犯す者を我らがゆるすごとく、我らの罪をもゆるし給え。我らを試みに会わず、悪より救い出し給え。国と力と栄とは、限りなく汝のものなればなり。アーメン

《 使 徒 信 条 》

我は天地の造り主、全能の父なる神を信ず。我はその独り子、我らの主イエス・キリストを信ず。主は聖霊によりて宿り、おとめマリヤより生まれ、ポンテオ・ピラトのもとに苦しみを受け、十字架につけられ、死にて葬られ、陰府に下り、三日目に死人の内よりよみがえり、天に昇り、全能の父なる神の右に座し給えり。かしこより来たりて生ける者と死にたる者とを裁き給わん。我は聖霊を信ず。聖なる公同の教会、聖徒の交わり、罪のゆるし、体のよみがえり、とこしえの命を信ず。アーメン

「オレンジ郡キリスト教会の歩み」

オレンジ郡キリスト教会は1977年に発足し、東洋宣教会・北米ホーリネス教団に所属するプロテスタント教会の一つです。北米ホーリネス教団は1921年に創立され、現在は日英両語合わせますと2000名を越える会員になります。私たちの教会は18世紀に、英国で始まったジョンウェスレーによるメソジスト教会の流れを汲みます。そして他のプロテスタント教会同様、3世紀以来告白され続けてきた使徒信条を、私達の信仰告白と致します。

2023年10月15日

オレンジ郡 キリスト教会

礼拝：9時半～
聖書の学び：11時～



榊原のぶゆき牧師

(714) 827 - 6244 nobu@occc.org

4872 Bishop St, Cypress, CA 90630

Facebook: オレンジ郡キリスト教会

ホームページ: www.occc.org



【教会年間聖句】

「私はこの岩の上に私の教会を建てよう。陰府の門もこれに打ち勝つことはない。私はあなたに天の国の鍵を授ける。」

マタイ16:18, 19

☆集会案内☆

日曜礼拝 : 09:30-10:20

礼拝は短縮して持たれています。

礼拝後のバイブルスタディ、平日のクラスなどは、現在休止しています。

